

# 労働安全衛生マネジメント システム導入後の労働衛生管理

主任研究者 山口産業保健推進センター所長 赤川悦夫

共同研究者 山口産業保健推進センター相談員

芳原達也、井上正岩、奥田昌之、清藤正裕  
山口大学 國次一郎、杉山真一、森本宏志

# はじめに

- 労働安全衛生マネジメントシステム (OSHMS) は、自主的な安全衛生活動で、危険防止を総合的に企画立案し、実行するもの
- 本研究でのOSHMS
  - 1) 危害防止基準の確立
  - 2) 自主活動の促進 参加型の活動
  - 3) 総合的計画的な対策の実施

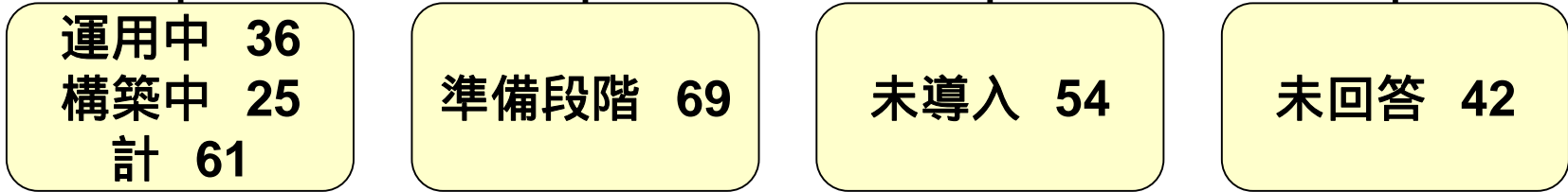
# 目的

- 山口県のOSHMSの導入状況の実態と導入による効果
  - 事業場の経営へ影響、マイナス面、労働者の参加
- OSHMSの普及促進の広報資料作成および普及施策立案のための資料作成のために調査
- 山口県内の製造業
  - 業種によりOSHMSの内容や課題が大きく違うと考え、比較的事業所が多く、安全衛生上の課題の多いと考えた。

# 対象と方法

山口県内 製造業  
従業員100人以上  
226事業場

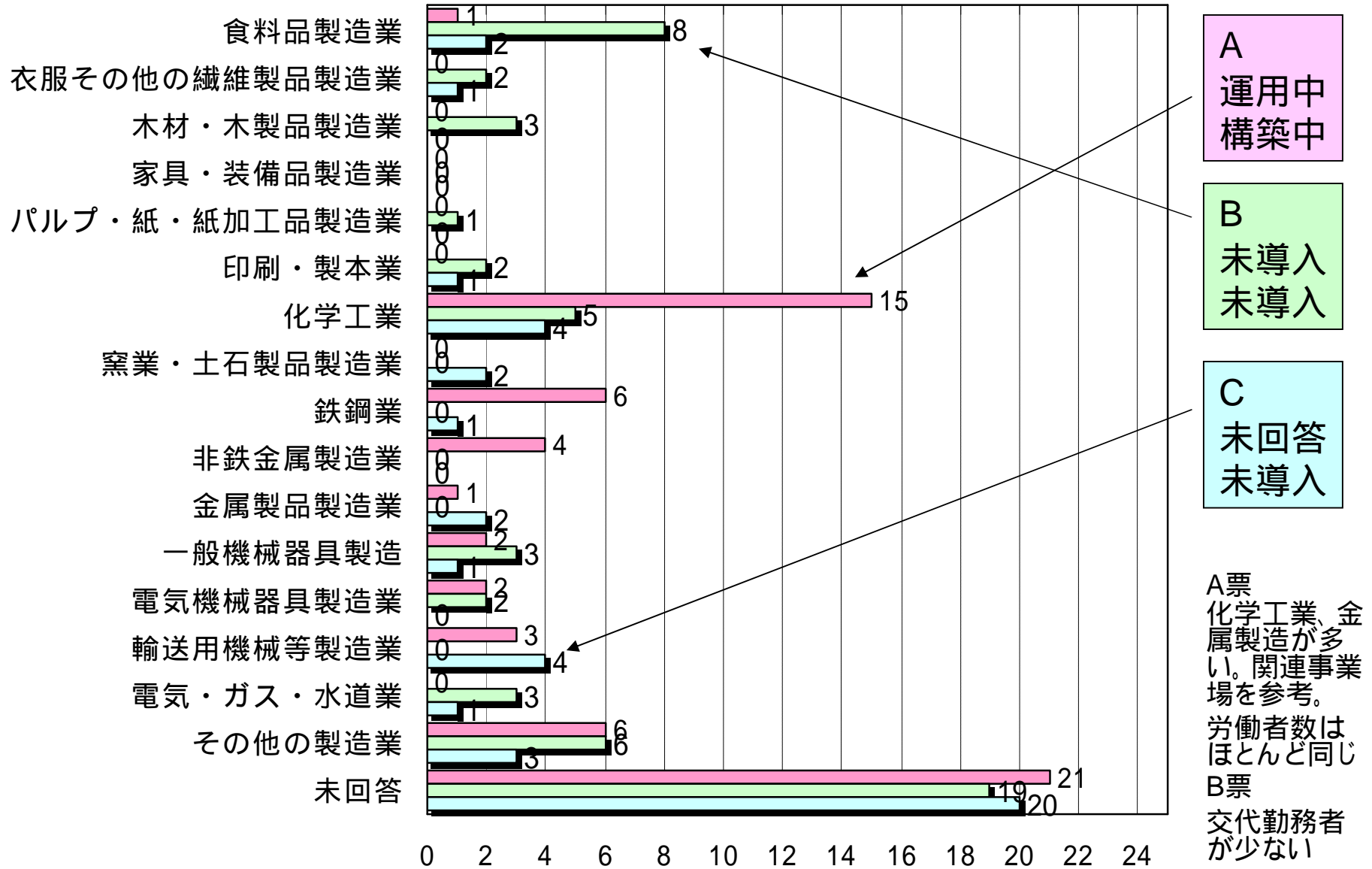
H18.12



H19.9  
郵送調査

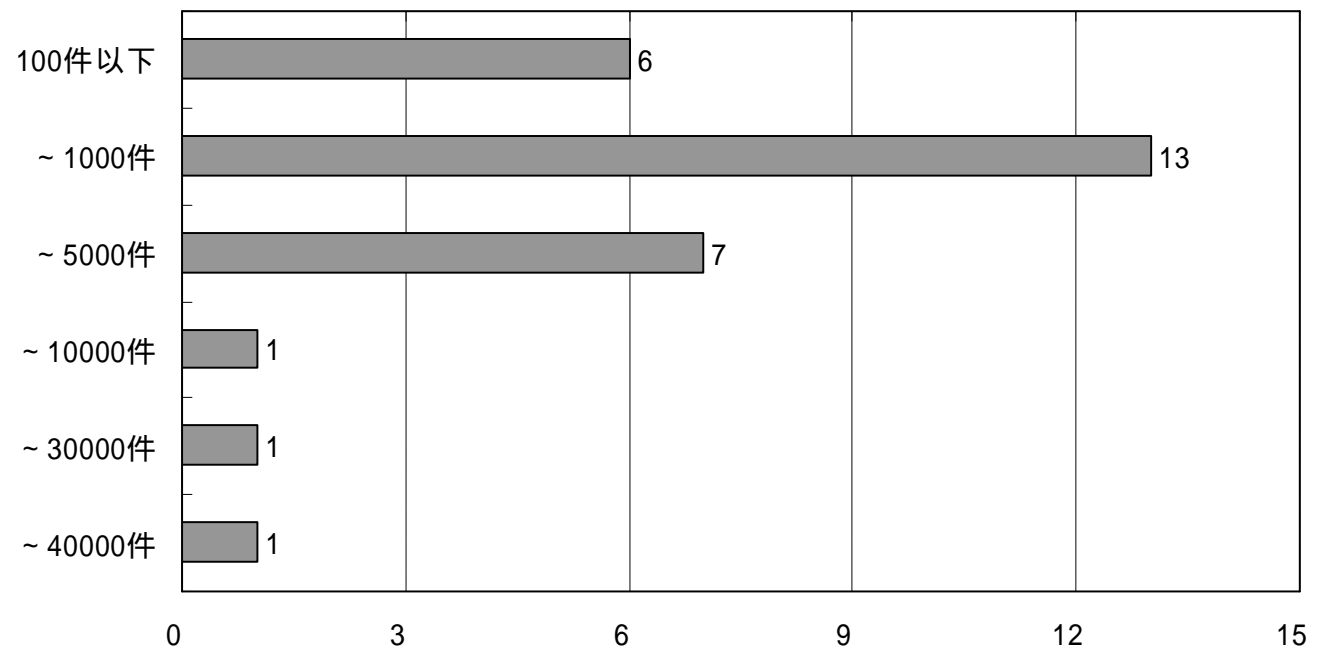
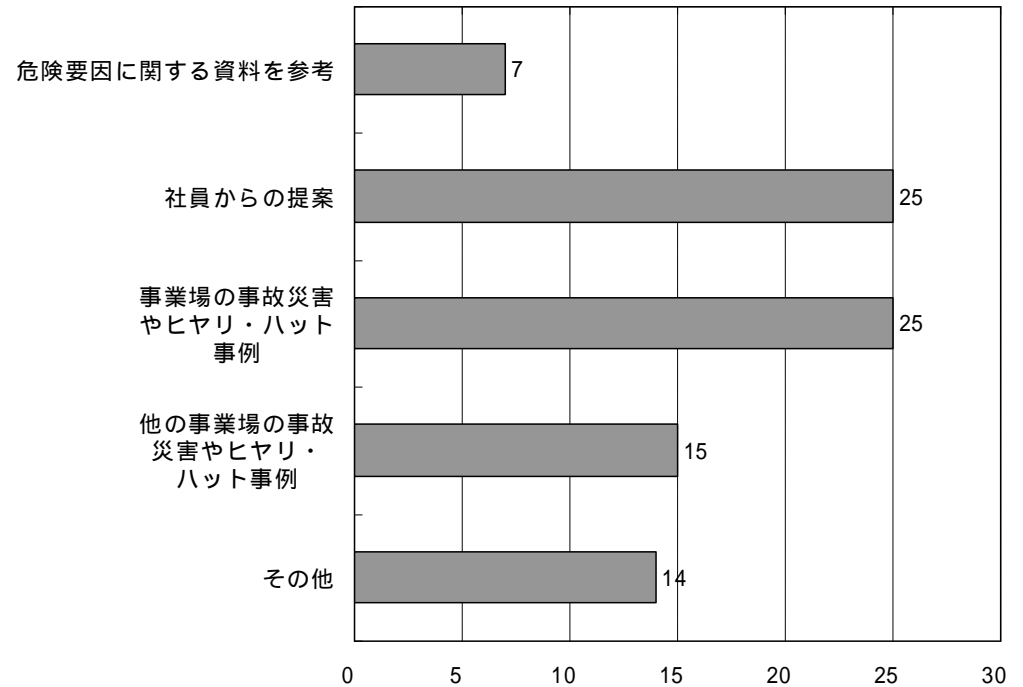
	A票：導入変化	B票：状況	C票：状況
回収	40/61(66%)	35/45(78%)	22/42(52%)
運用	28 (46%)	1 (2%)	3 (7%)
構築	3 (5%)	2 (4%)	1 (2%)
準備	4 (7%)	3 (6%)	4 (10%)
未導入	5 (8%)	29 (54%)	14 (33%)

# 結果 回答事業場の業種



# 結果 運用・構築中 事業場

## リスク・リストアップ



# 結果 運用・構築中事業場

- プラス面
- マイナス面
- 成功感
- 全体

事故災害発生数は減少しましたか。

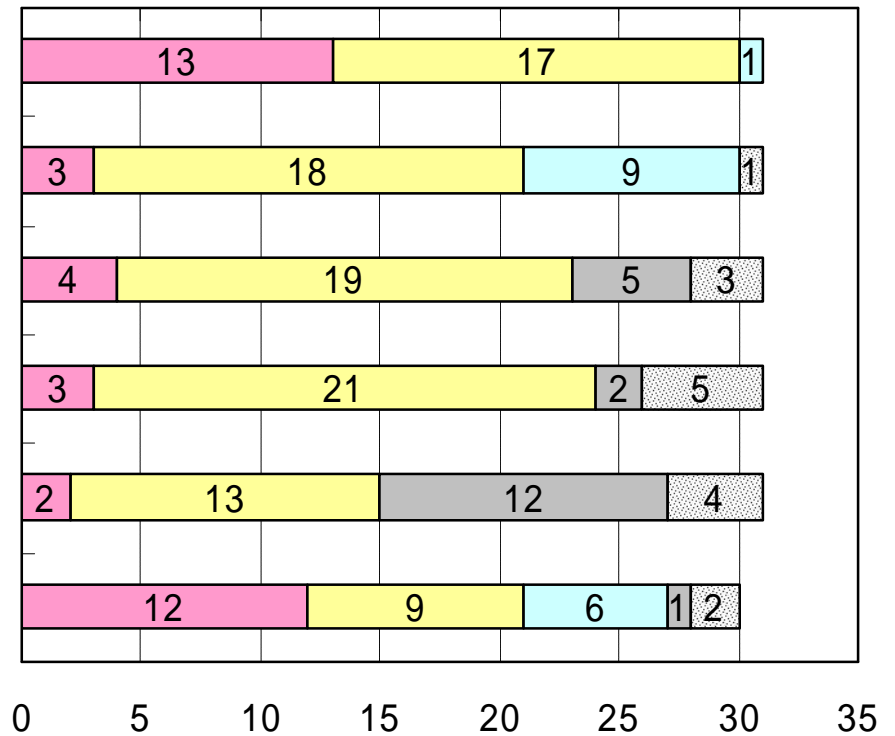
ヒヤリ・ハット件数は減少しましたか。

欠勤者数は減少しましたか。

疾病件数は減少しましたか。

社外(一般など)からの苦情件数は減少しましたか。

OSHMS過程での監査の指摘件数は減少しましたか。

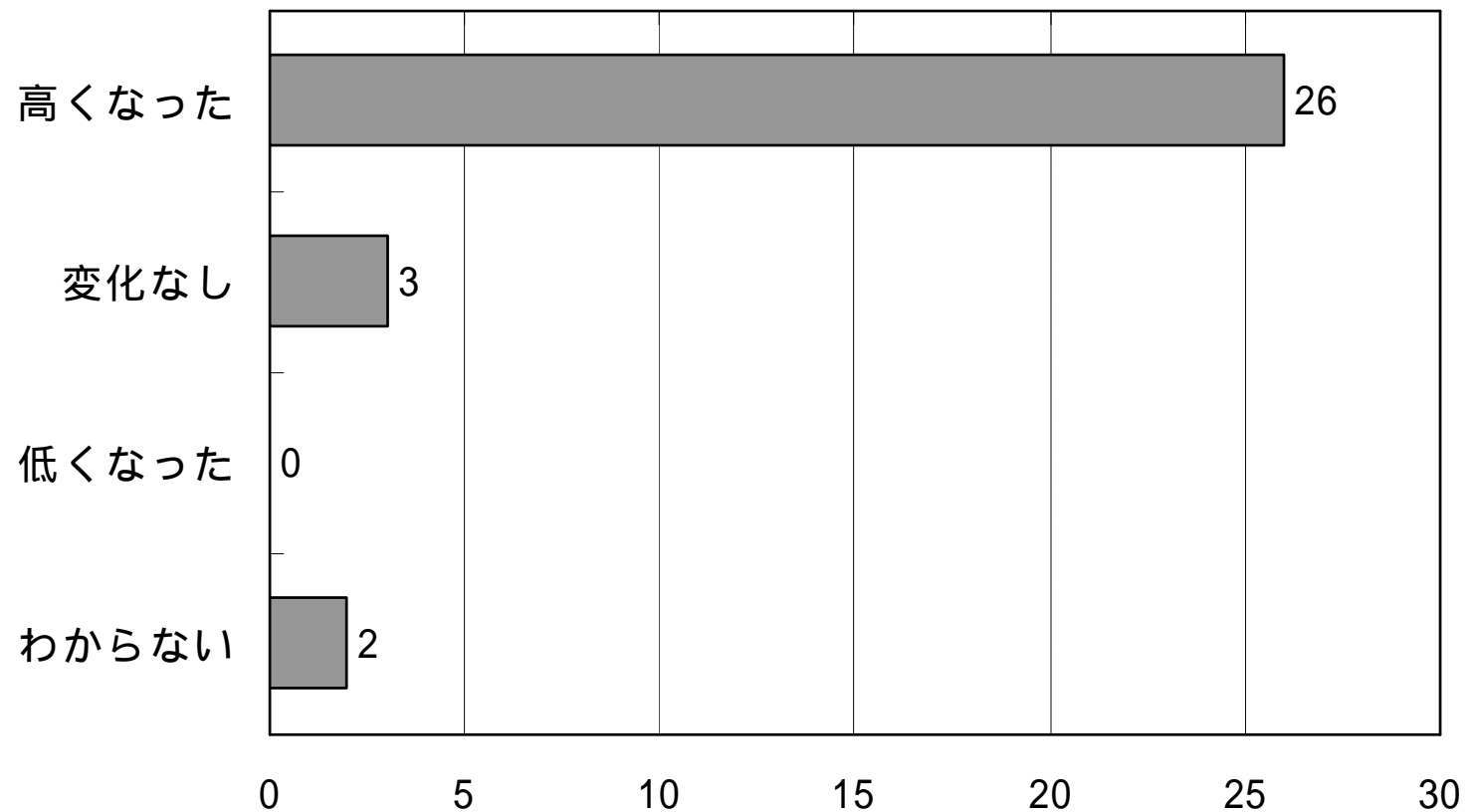


■ 減少した
 ■ 変化なし
 ■ 増加した
 ■ 以前からない
 ■ 不明

# 結果 運用・構築中事業場

- プラス面
- マイナス面
- 成功感
- 全体

社員の関心

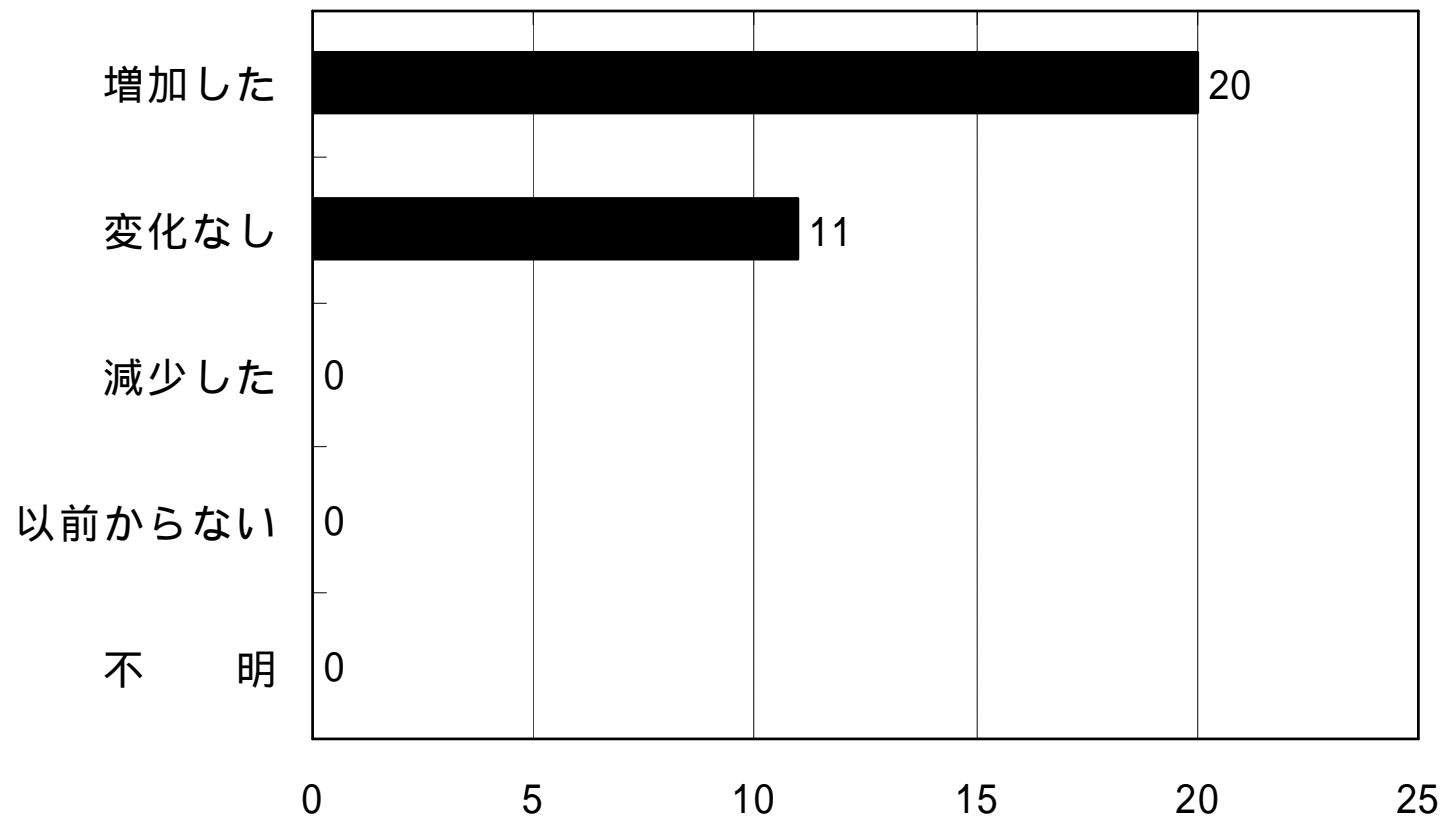




# 結果 運用・構築中事業場

- プラス面
- マイナス面
- 成功感
- 全体

OSHMSの実施によって一般業務への支障が増えましたか。



# 結果 運用・構築中事業場

- プラス面
- マイナス面
- 成功感
- 全体

安全衛生水準が向上したと感じますか。

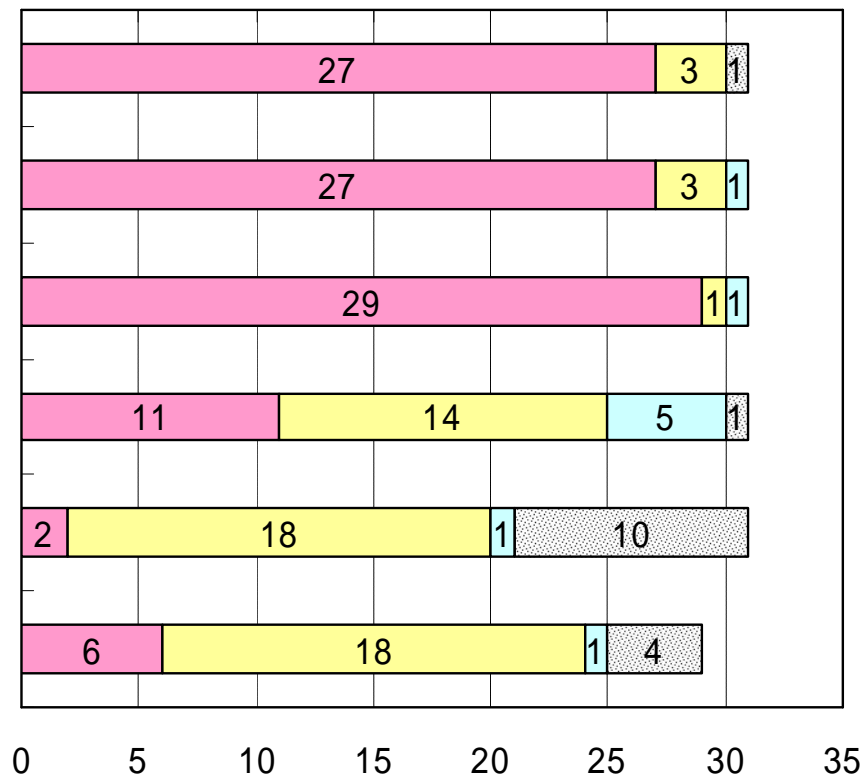
安全衛生管理が、組織的・継続的に実行されるようになったと感じますか。

職場のリスクが減少したと感じますか。

災害やヒヤリ・ハットが減少したと感じますか。

対外取引がしやすくなったと感じますか。

労働組合との関係がよくなったと感じますか。



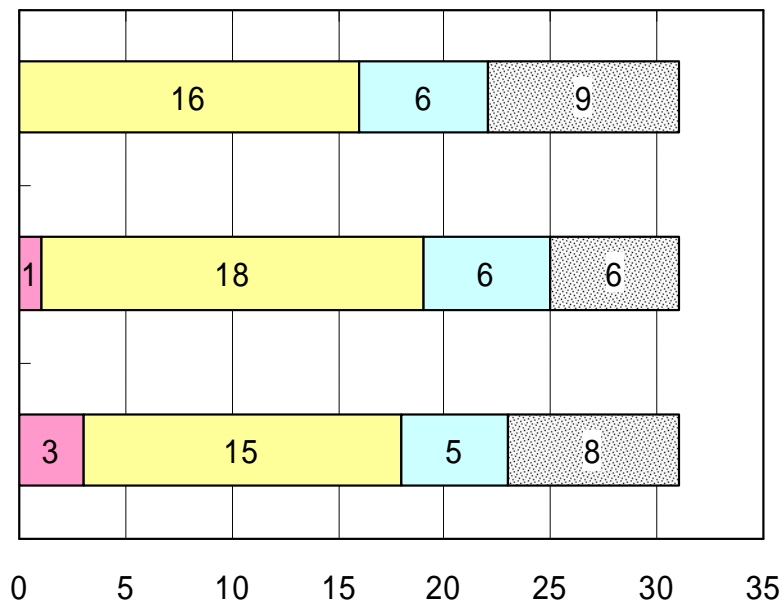
# 結果 運用・構築中事業場

- プラス面
- マイナス面
- 成功感
- 全体

OSHMS導入によって受注は増加したと感じますか。

OSHMS導入によって売上は増加したと感じますか。

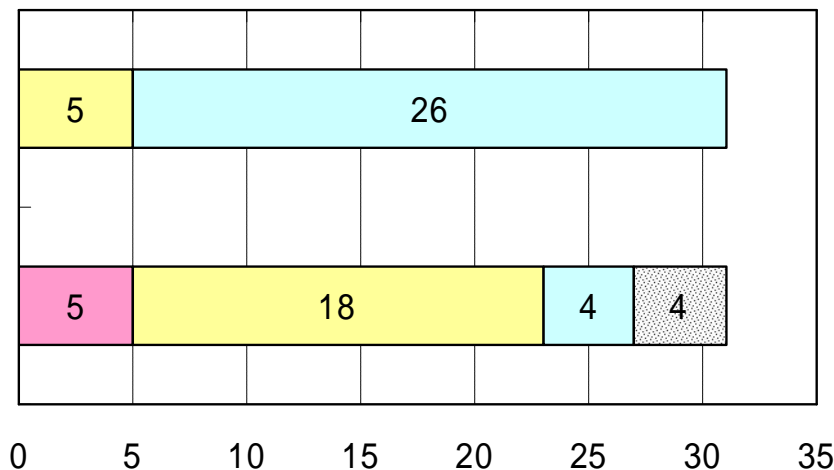
OSHMS導入によって損益に貢献した(純利益増加)と感じますか。



■ はい ■ どちらでもない ■ いいえ ■ わからない

OSHMS導入の安全衛生(危険防止等)対策の対策費用(損失)は変化しましたか。

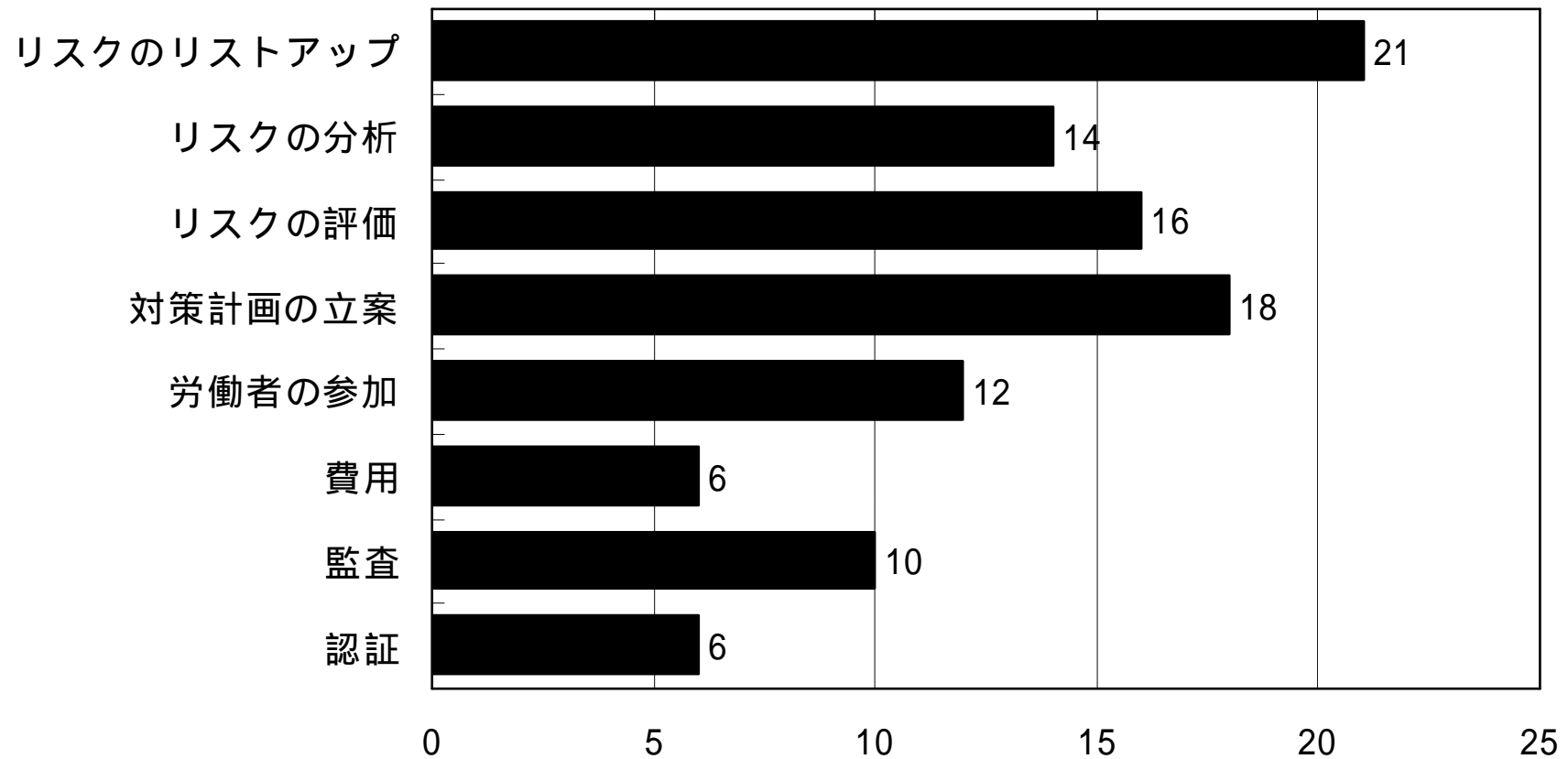
OSHMS対象の事故・災害・疾病による損失は変化しましたか。



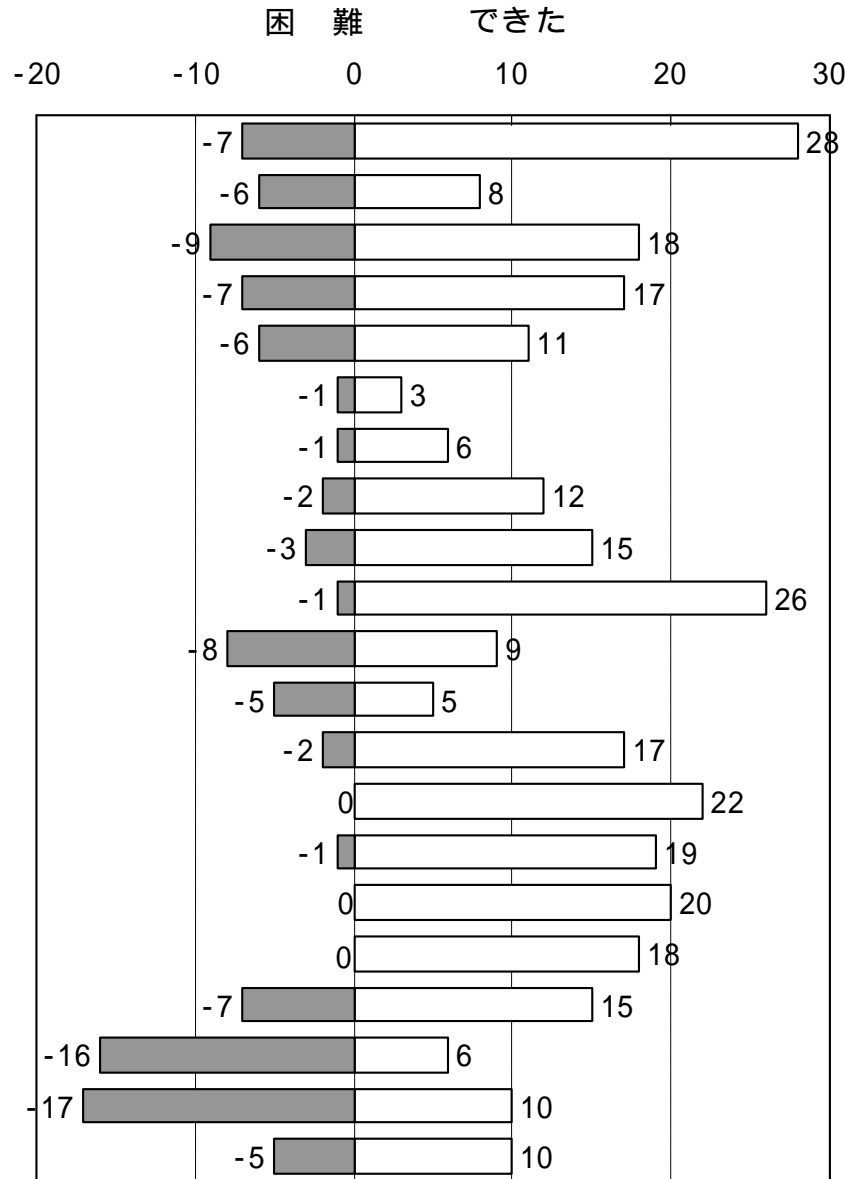
■ 減少した ■ 変化なし ■ 増加した ■ 以前からない ■ 不明

# 結果 運用・構築中事業場

- 困難な作業



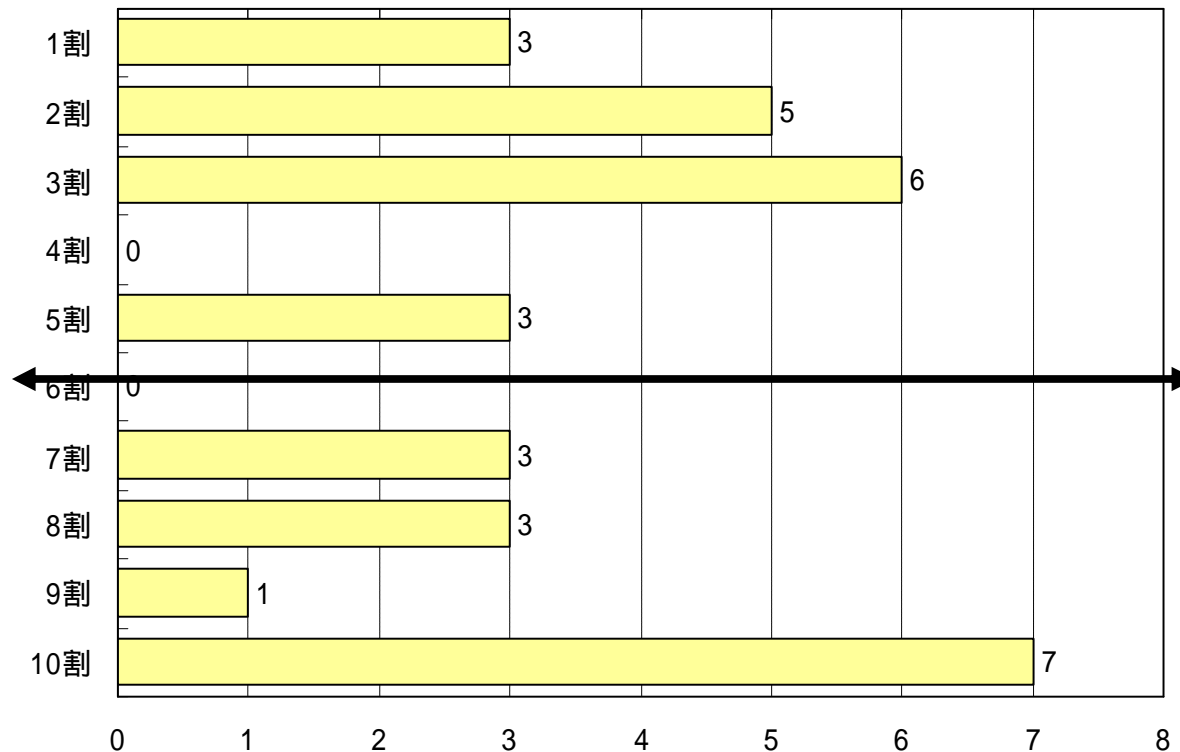
# 結果 導入・構築中事業場



- a 機械・器具などの設備
- b 電気設備、建屋などの設備
- c 有害要因
  - c1 化学物質、粉じん、酸素欠乏
  - c2 騒音・振動
  - c3 電離放射線、有害光線
  - c4 温熱条件
  - c5 その他の爆発性、発火性、引火性物質
- d 作業環境や、快適な職場環境
- e 作業、作業手順
- f 関係請負事業場に関すること
- g 交通災害や運搬業務
- h 安全衛生教育
  - i 安全衛生活動
    - i1 危険予知活動(KY)
    - i2 4S活動(整理、整頓、清潔、清掃)
    - i3 ヒヤリ・ハット報告活動
- j 緊急事態への対応(自然災害、火事)
- k 健康保持増進(生活習慣病対策)
- l 労働環境(過重労働、メンタルヘルス)
- m 喫煙対策

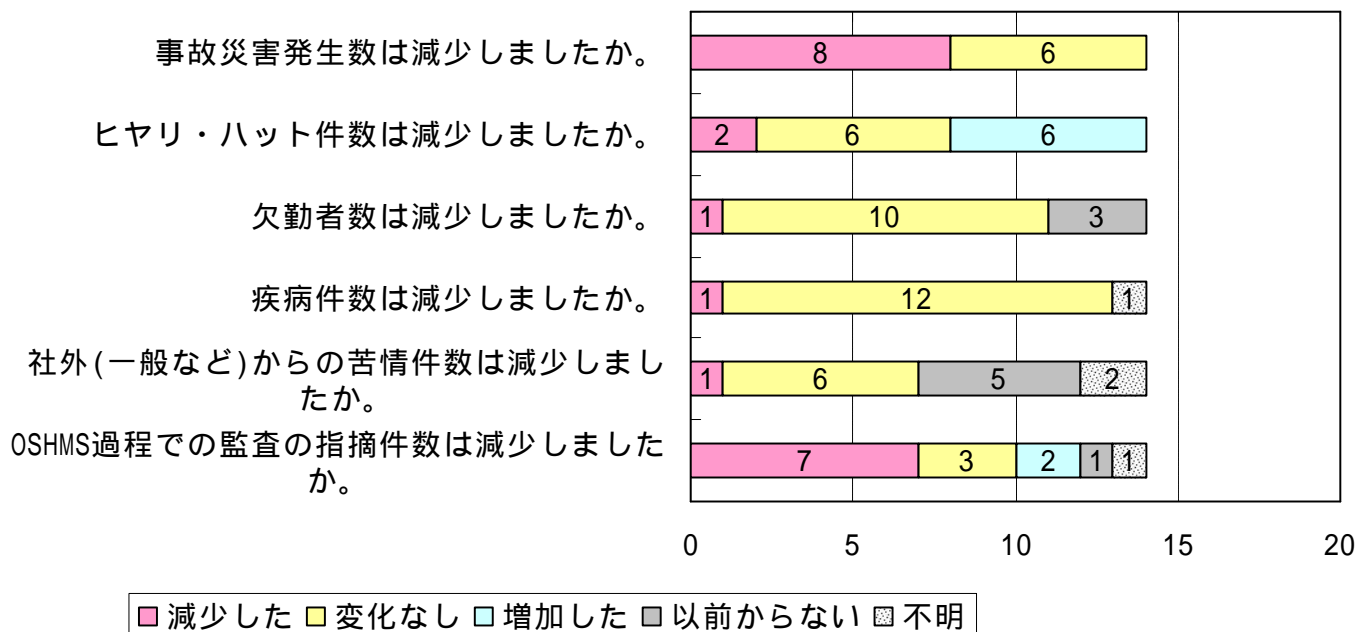
# 結果 労働者の参加

全スタッフのうち何割の人が、リスクの評価や対策の検討に参加していますか。

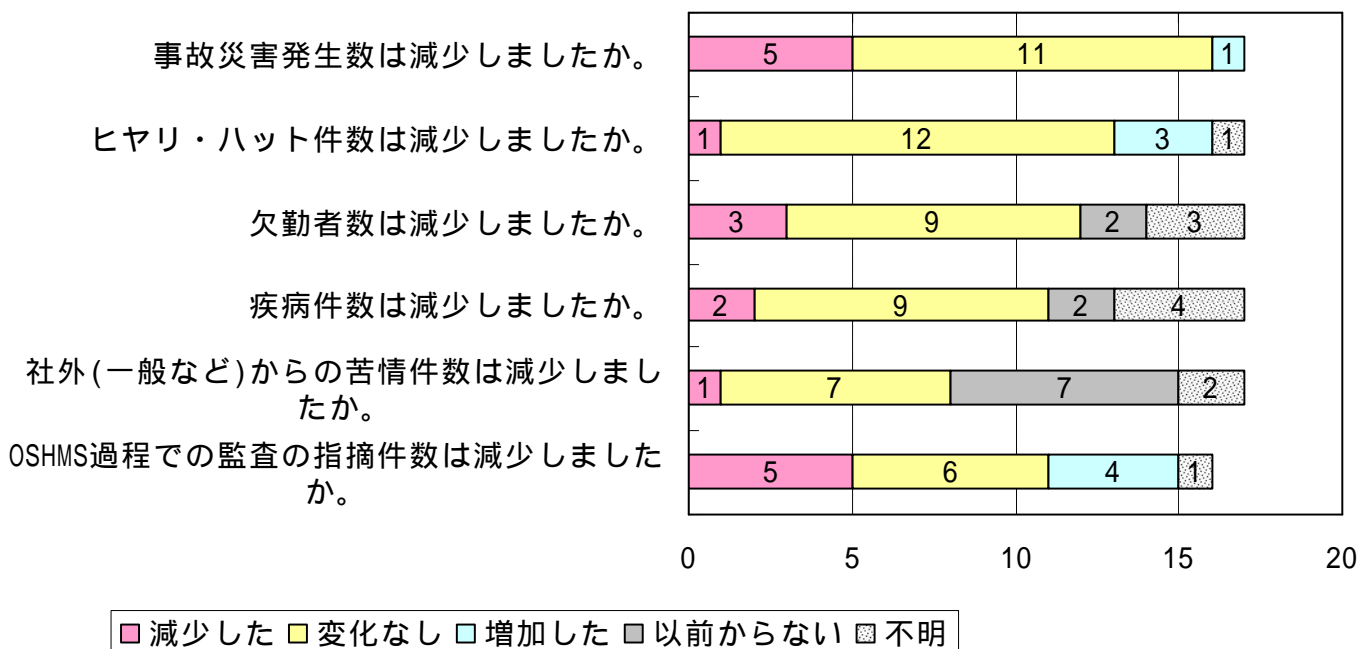


# スタッフ 参加

## 5割超



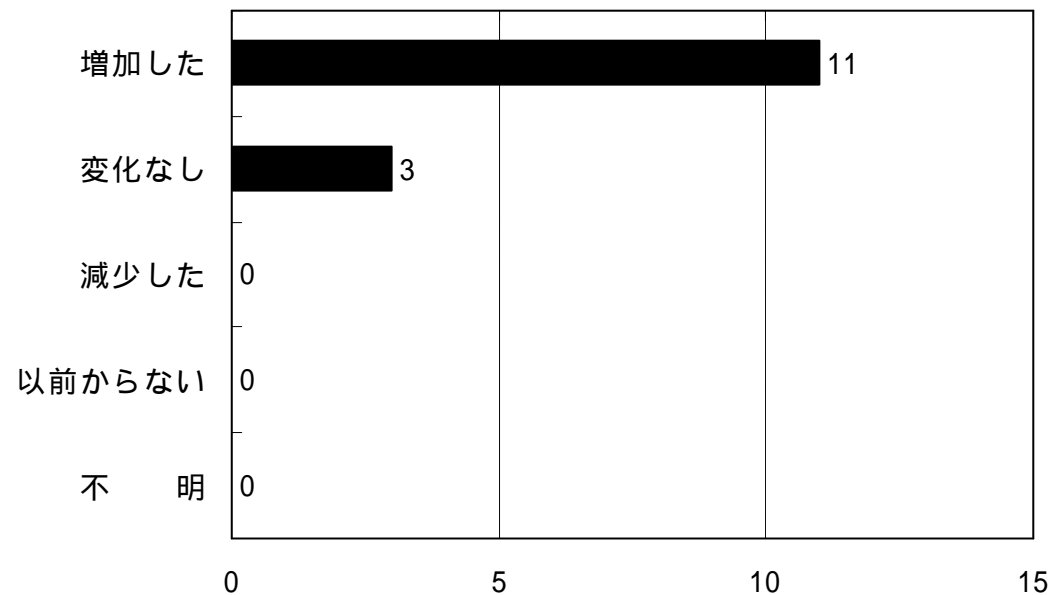
## 5割以下



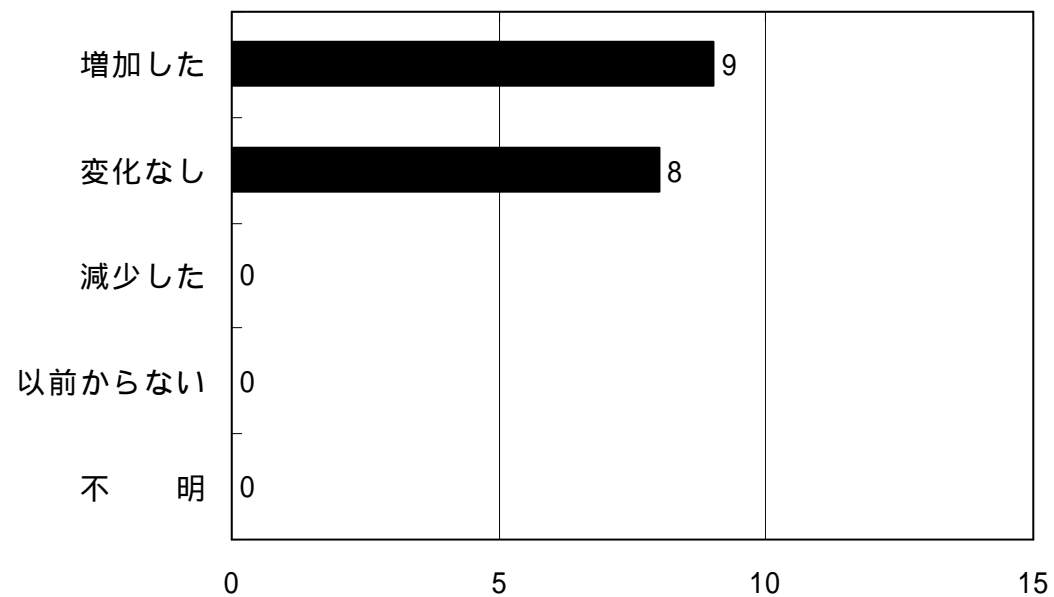
# スタッフ 参加

5割超

OSHMSの実施によって一般業務への支障が増えましたか。



5割以下

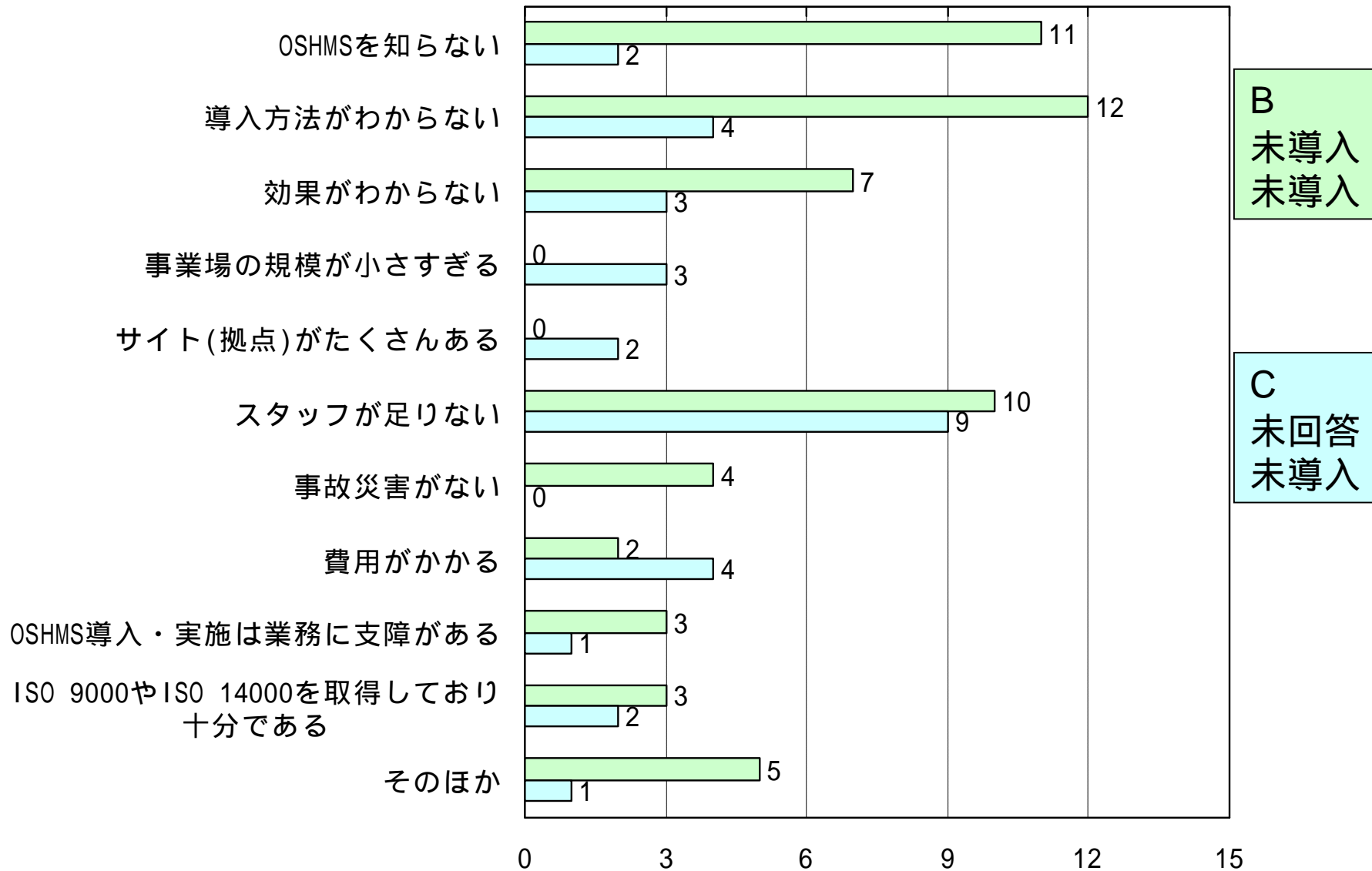




# 結果 訪問調査

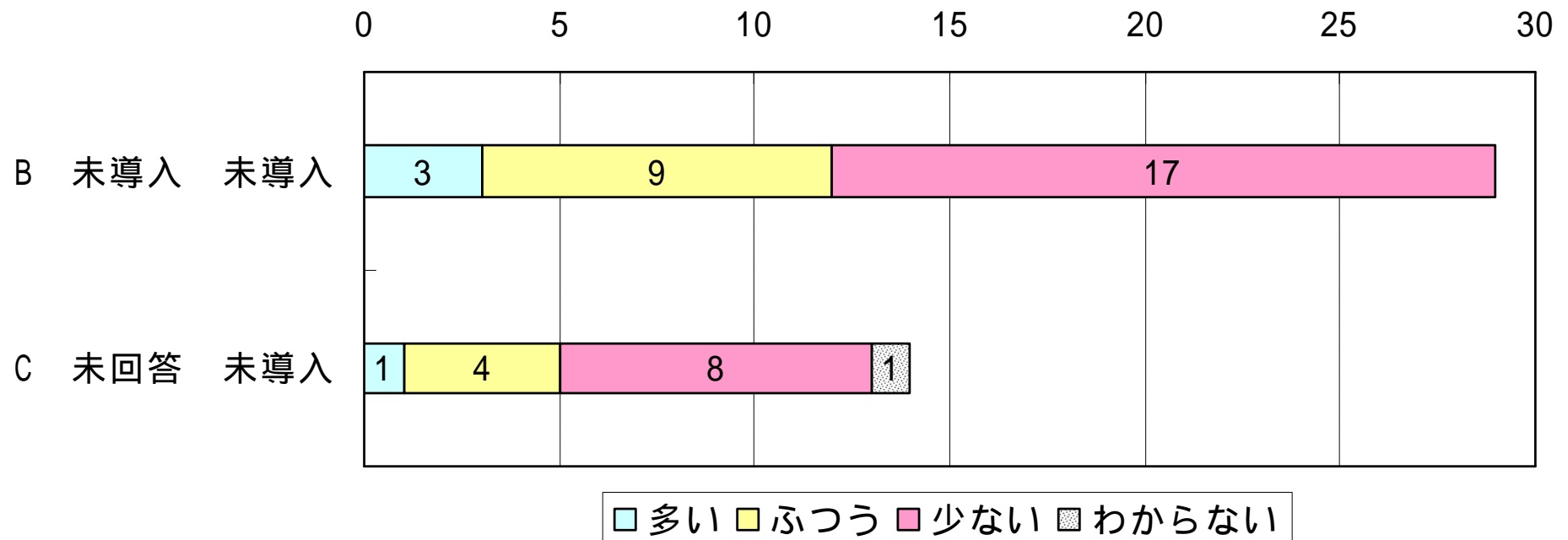
- 訪問調査 5事業所
  - － 工夫
    - 評価方法の工夫 文書、マニュアル
    - 目に見えるもの
      - － 活動の見える化・見せる化、レビュー化
      - － 各作業場をビデオに収録し、ビデオによる事例検討を行ったこと。
    - 内部の活動 品質管理、TPM活動との協同
    - 関係法令・法令順守の周知・徹底
    - 外部活動を参考 グループ事業場
    - 協力会社の参加・協力
- ノウハウ(質管理)を知っているスタッフ

# 結果 未導入事業場



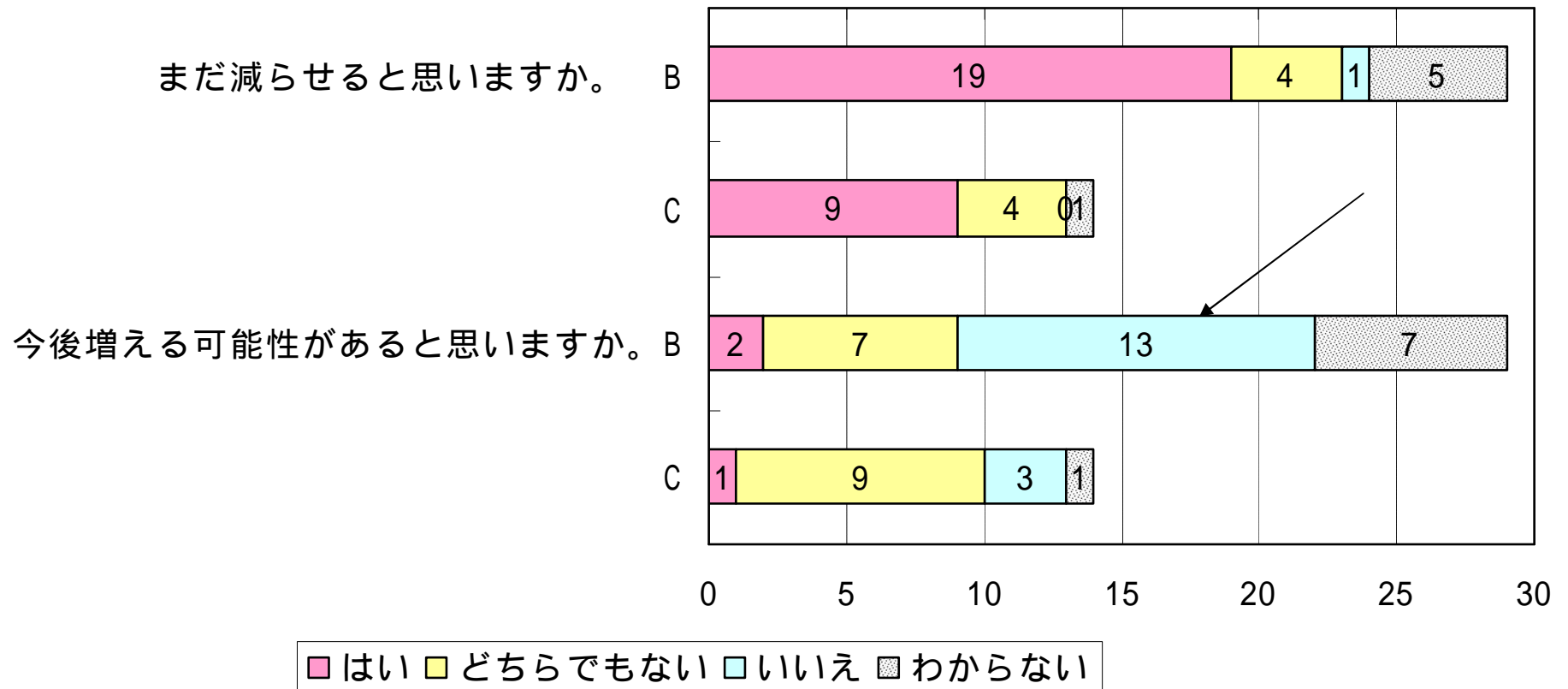
# 結果 未導入事業場

- 事故災害状況



# 結果 未導入事業場

- 事故災害状況



# まとめ

- OSHMSの導入によって
  - 効果
    - 事故災害件数減少
    - 社員の関心、成功感
  - 課題
    - 導入費用、業務の増加
  - 導入
    - グループ会社を参考にしている
    - 他の認証(ISO)などの経験が役立ったという訪問調査結果
- 結果を理解して(効果や課題、準備段階)、普及促進に努める。
- 設備上の問題、健康管理上の問題について取り上げていくように指導をする必要もある。